

# 平成 25 年度議会報告会報告書

平成25年8月

庄原市議会

# 目 次

## 平成25年度庄原市議会報告会

1. 開催の目的	1
2. 開催時期、開催地区及び参加者数	1
3. 議会報告会（報告事項）次第	2
4. 班編成	2
5. 報告事項に対する質疑応答	
1) 平成25年度一般会計予算の減額修正について	3
2) 6月定例会の審議状況について	12
3) その他の質疑・意見	21
6. 意見・要望等について	
1) 議会へ対する質疑・意見・要望	37
2) 行政へ対する質疑・意見・要望	41
7. まとめ	46

# 平成 25 年度庄原市議会報告会

## 1. 開催の目的

庄原市議会は、庄原市議会基本条例第5条第3項の規定に基づき、「議会報告会」を開催した。

## 2. 開催時期、開催地区及び参加者数

地域	地区	開催日	開催時間	会 場	参加者数 (人)	担当班
庄原	庄原	7月16日(火)	19:00~21:05	庄原市民会館	27	1
	高	7月17日(水)	19:00~21:00	高自治振興センター	16	2
	本村	7月 9日(火)	19:00~20:40	本村自治振興センター	18	3
	峰田	7月10日(水)	19:00~21:00	峰田自治振興センター	17	4
	敷信	7月11日(木)	19:00~20:20	敷信地区民ふれあい広場	16	5
	東	7月17日(水)	19:00~20:50	東自治振興センター	36	6
	山内	7月 5日(金)	19:00~21:00	山内自治振興センター	14	1
西城	北	7月16日(火)	19:00~21:00	北自治振興センター	12	2
	西城	7月 8日(月)	19:00~20:43	西城自治振興センター	14	3
東城	八銚	7月11日(木)	19:00~21:05	八銚自治振興センター	9	4
	東城	7月12日(金)	19:00~20:00	東城自治振興センター	4	5
	小奴可	7月10日(水)	19:00~20:30	小奴可自治振興センター	13	6
	八幡	7月 8日(月)	19:00~21:00	八幡自治振興センター	11	1
	田森	7月12日(金)	19:00~21:00	田森自治振興センター	7	2
	帝釈	7月11日(木)	19:00~20:35	帝釈自治振興センター	31	3
	久代	7月 4日(木)	19:00~20:50	久代自治振興センター	31	4
口和	新坂	7月10日(水)	19:00~20:10	新坂自治振興センター	12	5
	口和	7月19日(金)	19:00~21:10	口和自治振興センター	12	6
高野	高野	7月 9日(火)	19:30~21:00	下高自治振興センター	10	1
比和	比和	7月10日(水)	19:00~21:05	比和自治振興センター	14	2
総領	総領	7月19日(金)	19:00~20:30	総領自治振興センター	4	3
合 計				21会場	328	

〔前年度までの状況〕

平成 23 年度	7月1日(金)~ 7月21日(木)	原則 19:00~21:00	22 会場	488	全8班
平成 24 年度	7月3日(火)~ 7月20日(金)	原則 19:00~21:00	21 会場	369	全8班

### 3. 議会報告会（報告事項）次第

【開会 19:00】

(1) 開会あいさつ（班長） 【5分】

(2) 議会報告

① 議会活動報告 【30分】

- ・平成25年度一般会計予算の減額修正について
- ・6月定例会の審議状況について

② 質疑応答 【30分】

- ・報告した内容に関する質問

(3) 意見交換等（市政・議会運営に関する意見等） 【50分】

(4) 閉会あいさつ（班長） 【5分】

【閉会 21:00】

### 4. 班編成

班	総務財政委員	教育民生委員	産業建設委員
1班（4人）	五島 誠	横路 政之	◎門脇 俊照 谷口 隆明
2班（3人）	◎垣内 秀孝	吉方 明美	坂本 義明
3班（3人）	松浦 昇	◎田中 五郎	八谷 文策
4班（3人）	◎宇江田豊彦	福山 権二	政野 太
5班（3人）	赤木 忠徳	◎林 高正	堀井 秀昭
6班（3人）	岡村 信吉	近藤 久子	◎徳永 泰臣

※ ◎印は班長

※ 役割分担（司会進行・報告者・記録）は各班で決定

## 5. 報告事項に対する質疑応答

### 1) 平成 25 年度一般会計予算の減額修正について

質疑・意見	会場での回答
防災無線は山内からの要望。2 年前より JA から中止の要請がきている。先のみえない話だが詳しい説明をしてもらいたい。	東城、西城（オフトーク）は平成 26 年までには終了する。それまでには、なんとかしなければならないと思っている。財源も含めて検討したい。
実施の年度はいつごろになるのか。早く実施しようと思っているのか、少し長くなるのか。	立ち止まることはなく、長くしようとは思わない。FM などいろいろな形態を研究している。安い費用でスピーディーにできるようにさせる。総務委員会でも勉強会を実施している。
何年も待ってきたことなので、手もとに置かずに前に進めてほしい。	思いは受け止める。
防災行政無線は今後、いつどのようになるのか。	オフトークは、平成 27 年 2 月末で保守をやめることになっている。
情報が入りにくい弱者の立場の人を大切にしてください。	
防災行政無線はいつ頃できるのか。できるまでの間はどうするのか。オフトークのような利用ができるのか。	防災に関すること、公共性の高いもの（議会の開会、死亡の連絡など）商業放送はできない。放送内容については、地元から要望をしてほしい。今の状況は白紙となっている。今までの議論の中では両方できる方法もあると聞いている。
超高速情報通信網整備事業及び防災行政無線整備事業について、いつ提案されるのか。	2 件とも総務財政常任委員会の閉会中の継続審査事項に掲げ調査することとしている。
オフトークはどうなるのか。	平成 27 年 2 月で NTT は、機器に対するメンテナンスを終了すると伝えてきている。しかし、その後は使えなくなるということでは決してないが、西城地域を含め地元要望も強いので、それに替わるものを検討している。 最終的に、執行者より提案がなされるまでは議会としても動きが取れないと言うのが正直なところだが、総務財政常任委員会では、継続審査として調査研究を続けていく。

質疑・意見	会場での回答
超高速情報通信網の議論はどうなっているのか。	平成 25 年度一般会計予算から減額し、新たな執行者にゆだねることになっている。完全にストップしているわけではない。
防災行政無線の今後の考え方は。	口和・比和・高野・総領地域のアナログ式はデジタル式に変える方向であり、東城・西城地域のオプトーク通信システムは、NTT が平成 27 年 2 月で終了するのでその代替として考えているが、方法についてはまだ確定していない。年次計画を定めて庄原市全域を一体的に整備する考えである。
ADSL の使える範囲はどこまでか。	全域ではない。全域は現時点ではカバーできていない。
三次市は光が入っている。光が入っていないと、若い人が転入するにも難しいと思う。どう考えているか。	今回、減額修正した理由のひとつとして、民間で中心地だけ実施するという内容であった。民間だと利益中心で中心地以外の拡大は絶望的になる。
防災行政無線の減額分の使い道は。	市道の補修に使用するようにしている。
超高速情報通信網整備と防災行政無線整備事業を減額修正されたが、市もいろいろな案から絞り込んだ事業だと思うが、どこがいけなかったのか。	平成 24 年から検討委員会を立ち上げて、6 回審議し 5 通りの案について検討し、財政を考えたなら民設民営でとりあえず中心地からやるべきではないかとの結論に至った。その他の地域については、新しい技術を取り入れて拡大をしていくというものであった。しかし、大きな事業であり、市長の交代ということもあり、議会とすれば新しい手法も含め再度検討すべきとの結論を出した。
八幡は整備区域に入っていたのか。	入っていなかった。東城の中心地だけであった。
防災行政無線は、災害が発生した場合必ず必要な事業だ。J アラートも瞬時に全市民に行き届かなくては意味がない。	もっと合理的な手法をもう一度検討しようと思っている。議員全員も必要性は十分認識している。
タイムリミットはいつごろか。	平成 26 年までには、何とかしないとイケないと思っている。

質疑・意見	会場での回答
<p>超高速情報通信網整備、防災行政無線施設整備について、庄原市内はもともと無いので必要性が理解できないのか。現在機器のある地域は無くなると困る。奥出雲町は個人負担なしで整備している。情報の共有は、田舎になるほど必要だ。高齢化が進むこれからこそ整備が重要ではないか。何でもが後追いでやっている気がする。</p>	<p>ADSL、リーチDSLなど、つぎはぎで先行整備したツケが来ている。これらを中止すると補助金の返還が生じてしまう。携帯電話でのインターネット利用など、新しい技術を取り入れて整備しなくてはならない。議会にも責任があると思う。</p> <p>今回、光を否決したのは、整備される範囲が狭いことから。民間に任せると、人口の少ない地域は整備しなくなる。ADSLを使用している業者への補償も発生してくる。防災無線については、約24億の基金の使用は控えるべきであると考えている。東広島や三原で使用されているFMなどの安い手法も検討すべきであるといった意見もある。中止するのではなく、一日も早く整備するようにとの意見も出している。</p>
<p>超高速情報通信網整備事業は、平成28年で市役所周辺を整備する事業が終了する。他の地域は切り捨てることになるのか。執行者側に言っているといわれるが、何もすすまない。そんなことでは議会は不要ではないか。</p>	<p>このままだと、40%ぐらいカバーできない。この点を執行者に厳しく言っている。</p>
<p>市長と議会は何でも対立・反対でなく、協力すべきところはしっかり協力すべき。</p>	<p>否決は一部のことであり、大半の議案は通っている。仲が悪いわけではなく、議論に基づき採決している。</p>
<p>3月議会の減額理由は執行者交代とかということではなく、本論での議論がなされた結果であるべき。提案する市長も短期間で光・防災の方向付けを行っており、本当にしっかりとした検討がなされたとは思えず、提案の中身が不十分だ。</p>	<p>この計画では、光については受益が一部の地域になる、ADSLの運営も不安定に、さらに、4割の利用に止まってしまう見込み。防災無線については、24億全て基金を充当することはどうか、東広島では安価なFM放送の活用を行っており、これらの検討もすべきと考えた。</p>
<p>光ファイバーについて昨年市民への説明会があったが、そこで出た地域の声を議会はどのように受け止めたか。</p>	<p>市の財政状況を見たとき、市内全域を一気にとはならない。都市計画区域、支所周辺などを優先すべきとの提言があった。大事業なので、新市長になってから進めるべきということで議会は否決した。</p>

質疑・意見	会場での回答
減額した理由は首長交替とは別問題なのか。事業費が多額だからか。庄原市は何億円以上が「高額」なのか。	後年度負担が高額という意味である。光ファイバー、防災行政無線の機能を合わせ持つものがあるのではないかとということで、検討している。「高額」という尺度はない。
先進地視察などをして、行政も議会も一緒になって、早く進めてほしい。災害が起ってからでは遅いので、急いでほしい。	現在検討中ではあるが、近いうちに結論を出す。いつまでも引っ張るつもりはない。
3月定例会で減額修正したものが、平成26年度予算に出てきたら通すのか。	市民のためを一番に考え、検討したい。
北地区には防災無線はない。災害のとき必要だ。どういう考えを持っているか。光ファイバーをやって一番得をするのはだれなのか。	利用するのは、商工業者や若者だろう。
それならば反対だ。加入しない人がどれくらいいるのか。一番必要としているのは印刷会社だろう。使わない人がたくさんいる。携帯電話やインターネットがある。個人で35万円かけてした方がよっぽどいい。市に使用料が入ってくるのか。中国自動車道の下に大きな線が通っているの、それを利用する方法もある。	議会でも検討している。
防災無線について、旧庄原市の人はいらないという人がいる。有線方式ならばなくてもよい。無線でなければ意味がない。災害のとき、既設のものを利用しなくても動くものでなければ意味がない。災害の時は無線に限る。	
光ファイバーの設置について、市街地だけなのか。西城はどうなるのか知りたい。	現在は計画を取りやめている。新市長の下で協議・提案される。できるだけ全市に広げたいという思いはある。
光ファイバー設置と防災行政無線整備は長期総合計画に入っているのか。	入っていた。
合併後も計画に入っていたのに、なぜやめさせたのか。	今回事業をやめたのは、市長がやめるからという理由ではなく、新市長に託したいという思いで、一旦ストップをかけた。完全にやめたというわけではない。どの方法が良いのか、この分野は日進月歩なので、いろいろな方法を検討している。

質疑・意見	会場での回答
<p>新しいものを待っていたら、日々変わっていく分野なので、いつまでも決められないのではないか。整備できなくなるのではないか。</p>	<p>決めなくてはいけないということはきちんと認識し、前進させようとしている。市街地優先ではいけないという声もあった。市街地以外の地域を気にしている。</p> <p>合併協議会では、防災無線の話はなかった。オフトーク放送が中止になるということで、防災行政無線の話が出てきた。</p> <p>地上デジタル放送の全世帯への普及、光通信、音声告知システム（ケーブルテレビ）が計画にあがっており、平成23年3月に再検討され、平成24年にケーブルテレビの廃止が決まった。光ファイバーは庄原・東城・西城の3市街地域のための計画であり、少なくとも各支所までは延ばし、できれば全世帯へもと考えている。</p>
<p>光ファイバー、オフトーク、回覧板などの情報伝達方法があるが、職員の削減により弱いところへ情報が伝わらなくなるのではないか。</p>	<p>職員の数を減らすことと情報の多少は直接関わらないと思うが、弱いところへ目を向けていきたい。市役所のかわりに、各自治振興区でしっかり声を上げてほしい。</p>
<p>旧庄原地域は元々オフトークがないので、関心がないのではないか。田舎ほど必要である。防災無線を早く引いてもらいたい。それができないのなら、オフトークを継続してもらいたい。</p>	<p>一方向がいいのか、二方向がいいのか検討している。NTTはオフトーク通信を平成27年2月まででやめることを決めている。職員も検討しているので、少し時間をいただきたい。</p>
<p>減額修正について、事業は必要なことだと思うが、9月までに方向性を出すとのことなので理解をする。防災対策について、連絡・情報施設は早く事業ができるよう環境を整えてほしい。</p>	<p>9月とは決まっていないが、急ピッチで対応はされる。情報システムの市内での確保、公的な情報の提供、不幸のお知らせ、営農情報は提供できる。オフトークはNTT回線の利用で営業の放送もできる。川手地区は放送システムが導入されている。</p>
<p>災害の情報発信は必要。財源については市民にはわからない。国などの補助金制度があるのではないか。急ぐ地域については財源の確保も早くする必要が思う。</p>	<p>光はできるだけ全域にという気持ちが議会にはある。二本立てでできるかどうか検討している。議会の減額修正の意図を理解してもらいたい。</p>

質疑・意見	会場での回答
<p>光ケーブルは全市に引くべきだ。防災無線も大きな課題だ。こうした大事業の財源はどう確保されるのか。やってもらえるのか心配。なぜ庄原市だけが光を引くことができなかったのか。</p>	<p>トップが何を優先しているのかにかかっているのではないかと。奥出雲町は国費が50%、過疎債を充当、残り15%が町の負担でやった。</p>
<p>まちづくり基本条例もできているし、前向きに取り組んでもらいたい。</p>	<p>否決は、するなということではない。新市長での取り組みを、新しい議会で取り組んでいくということ。</p>
<p>光ファイバー整備について次のように思う。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備目的、事業費、地域動向から判断すると、計画そのものがズサンだったのではないかと。</li> <li>・全市民のために整備される計画であるべき。</li> <li>・三次市、奥出雲町をしっかりと研究すべき。</li> </ul> </p>	<p>目的を明確にして情報を共有しながら、新体制のもとで示される計画をしっかりと議論し進めたい。</p>
<p>住民の安心・安全につながる視点で整備を検討すべき。例えば奥出雲町の高齢者への対応や不便な地域を優先するなどの検討が必要であり、現計画のように企業へのメリットばかりでは受け入れられない。</p>	<p>極めて大切な視点だと考える。白紙からのスタートであり、先進事例研究も行き議論を深め方向を出すべき。</p>
<p>オフトークがなくなると高齢化率の高い東城地域は困る。整備の方向はどうか。減額したならば、新たな設備へつなげる間どう対応するのか考えてほしい。</p>	<p>現段階で議会としての確定方針は持っていない。この7月12日から総務財政常任委員会において議論を進める。オフトークはメンテナンスをすれば数年は維持できるとも聞いている。いずれにしても今年中には方向を出したい。</p>
<p>個別議員の光に関する意見を伺う。</p>	<p>光ファイバーの総合的な利活用を考えるべきで、告知等の機能を検討し全戸へ対応すべき。  機能・効果・財政面等の総合的な検討が必要である。</p>
<p>庄原地域における消防団への緊急連絡はどうしているのか。</p>	<p>出勤をはじめ全てメールで行っている。仮に、防災無線を整備しても入らないところも出てこよう。</p>
<p>葬儀の連絡はどのように。</p>	<p>日常生活の中で知りうる範囲での対応であり、無いのが普通と思っている。</p>
<p>便利が悪くても、庄原地域方式を全域に広げている気がする。納得できない。</p>	<p>オフトーク、防災無線ともに検討されており、決して庄原地域に無いから実施しないということではない。</p>

質疑・意見	会場での回答
<p>超高速情報通信網整備について、今後どのようになるのか。方向性を示して欲しい。否決はされたが、必要だということで、全市にするにしても予算をどうするのか。それらの手順も含めて教えてほしい。</p>	<p>光通信は企業には必ず必要なもの。市内の企業も望んでおられる。1つの方法として、即時的に工業団地に集中的に整備する考え方もある。そうすると経費がかからないが、敷設・運営する企業の採算性の問題が出てくる。運営をする民間業者にすれば、工業団地近隣だけでは事業として将来に渡って採算がとれず、工業団地周辺の受益者の加入を見込んで採算をはかろうとする。そういった場合、市の負担は10数億であり、市が負担をするのならば、企業が工事をして、企業が維持管理をすることになっている。</p> <p>議会の中で全般的な考え方をすると、周辺地域まで回線を引こうとしたときには、企業が採算のあわないものを運営してくれるのか、家が少なく加入率が低くて、企業がほんとうに運営してくれるのか。してくれないだろうと思われる。事実上、全世帯に引くのは難しい。それならば、公設民営しかないとなる。ネックになるのは三次市のCATVの例。回線が老朽化しており、更新の話が出ている。工事をした時は65億だったが、更新は85億かかるということで物議を醸し出している。議会も理事者も絶対引かなければいけないと思っているが、局地的に企業活動のために引くのか、全市を網羅する何らかの方法を考えてやるのかで今後の議論はすすむ。新たな通信システムも出てきており、携帯電話不感地域を解消するほうが、市民生活にとっていいのではないかという議論もある。早く結論をだしたい。防災無線も早く結論をだしたい。災害が起きては遅い。具体的な議論ができておらず、申し訳ない。</p>
<p>超高速情報通信網整備事業に関して、西城町は観光振興が点在しており、観光地に光を入れることで、経済効果や雇用が生まれるのではないか。都市計画区域だけを考えるのではなく、観光地を中心に考えても良いのではないか。</p>	<p>頂いた意見も反映したい。この事業は整備期間もかかり、また、日々成長している分野なので、これから議論をしていく。</p>

質疑・意見	会場での回答
<p>高速通信網の整備について、市街地だけを整備する計画だったのではないか。街中はADSLが使える。使えない所を使えるようにするべきではないか。</p>	<p>審議会も作られたが、議会には何の相談もなかった。つまり、議論していない。 これからも議論すべきではあるが、悩ましい課題であることは間違いない。 国からの補助金は現時点では無い。</p>
<p>高速通信網が整備されれば解決することかも知れないが、地デジが見えにくい。市に相談しても、既に終了していることと、対応が悪い。今後、機器が故障した場合、誰が負担するのか。個人負担が非常に高額である。</p>	<p>担当部署に報告するので、担当より回答させる。</p>
<p>高速通信網の整備と防災行政無線の整備に対する市長の考えは出ているのか。</p>	<p>どちらも必要との認識は示されているが、慎重に検討されている。9月議会あたりでは、何らかの方向性が示されることを期待している。</p>
<p>光については補助があるのではないか。</p>	<p>以前はあったが今はない。</p>
<p>ケーブルテレビという考えもあるのでは。</p>	<p>既に検討しないこととされている。</p>
<p>超高速情報通信網の議論は、常任委員会に任せるのではなく、議会の中で話し合う時期ではないか。</p>	<p>閉会中の調査に入っているが、基本となるのは総務財政となる。特に防災無線・オフトークの関係は長引かせるわけにはいかない。光の関係は、18・19年から話は出ていたが、情報網の整備の技術は日進月歩であり、防災無線も含め、一番安価で一番便利なものを求めていきたい。</p>
<p>一番安くて一番いいものは無いと思う。ADSLは引き揚げるかもしれない。早急に取り組んでほしい。議会のインターネット配信は喜ばれた。65歳以上が多い、簡単に見られるものがほしい。今年中には議会は結論を出すべきである。</p>	<p>早い取り組みをしたい。</p>
<p>検討委員会での最初の意見は、光を全域にこのことであったが、資金が無い理由で方向性が変わった経緯がある。空き家対策の取り組みをしているが、若者は光が来ていますかと聞く。いつまで継続審査するのか。今何が最善か考えてほしい。インターネット議会中継の取り組みも遅かった。</p>	<p>早急に議会としての方針を出すよう努力したい。</p>

質疑・意見	会場での回答
<p>庄原市全域を考えた超高速情報通信網や防災無線については、力関係で消滅することのないようにしてほしい。震災支援のための交付税の減税だと思うが、議員の定数減による減額部分については今回の震災復興支援へ関係しているのか。</p>	<p>25年から28年までの4年間の整備計画に待ったをかけているが、オフトークが無くなる所や機器が古くなっている所を優先的に考えた。震災復興のために国費が必要であるとして、交付税の減税となった。議員定数減による減額は震災復興には入っていない。</p>
<p>インターネットについて、どのような役をし、どのようなメリットや使い方があるのか専門家を呼んで議員も学んでほしい。防災行政無線については、情報伝達の方法として、Eメール、パソコンその面も合わせて、確実に伝わる方法を考えてほしい。10年から20年経過後の機器や施設更新に備え、例えば基金の積み立てとかも考える必要があるのでは。</p>	<p>とりわけ情報関係に詳しい若い議員もいる。月2回の委員会で検討に入っている。みなさんの生活に入っている部分は迷惑を掛けたくない。有線、無線合わせて考えて行きたい。ただ、理解しづらい高齢者の方も増えている状況もある。更新時の対応と合わせて審議を深めていきたい。</p>
<p>各家庭から負担をしてもらってもいいのでは。ケーブルテレビや下水道工事と同じように、負担がかかってもいいから、高齢者が利用可能なものを希望する。</p>	<p>総務財政常任委員会で、全市に光網の整備をした新見市に視察に行った。庄原市以上に便利と言われているが、毎月4千円から5千円の負担がかかるため、普及率が上がっていない。そういった状況も考えた中での将来的な情報の整備が必要と考えている。</p>

2) 6月定例会の審議状況について

質疑・意見	会場での回答
工業団地販売の進捗率は。	残り 1.7 ヘクタール。償還はすべて終了した。
工業団地が売れたといわれたが、市内の会社が移転をただけだ。議会として売る努力をせずして、売れないというのではしょうがない。	以前は特別委員会を立ち上げて努力していた。土地代を安くするよう、執行者にも要請していた。しかし、以前に販売した会社に対しての整合性が取れないという理由で聞き入れてくれない。
竹原には JRA の場外馬券売り場がある。稼ぐという考えがないといけないのではないか。	稼ぐという考えは大事だ。前向きに提言していきたい。
大手スーパーなどからの法人税は入らないのか。	地元には法人税は入っている。
パートでなく正社員にするようにするのも、議員の仕事ではないのか。	議会からも働きかけはしている。
地域の活性化のために、米の生産を産業化して会社を立ち上げようと思っている。しかし、このようなことは自治振興の域を越えている。市と JA が力を合わせてやるべきだと思うが、市として対応してもらいたい。議会も後押ししてほしい。また、商品化して販売するのは、大変だ。JA を使うと手取りが半分以下になってしまう。	お手本のような事業をされている。どんどん進めてほしい。JA へもしっかりお願いしたい。ただ、市としてお願いはできるが、公社でのやり方のように、市はやり方が下手である。今後ともご意見をうかがいたい。
職員の給料の減額は、国から言われたのでそのままなのか。地域への影響があるのではないのか。	職員組合が先に合意していた。ボーナスには減額の影響は発生していない。議会としても最終的には認めざるを得なかった。
職員の給料の減額は、サービスの低下につながるのではないのか。	職員適正化計画は、計画以上に進んでいる。また、地方分権が進み職員の負担は大きくなっている。
そのしわ寄せは住民に来ているのではないのか。	その分、自治振興区へお願いしている。
国家公務員は 7%の減額だ。なぜ 4%にしたのか。	県内で庄原市が一番低い。職員の給料は民間へ連動している。組合と妥結しボーナスは減額しない。

質疑・意見	会場での回答
<p>職員の給料減額は、職員のモチベーションが下がると思う。仕事は増えるのに給料を減らすのでは士気が下がるのではないか。減額分の約8,900万円は他から捻出できなかったのか。</p>	<p>議会としては、反対の意見もあった。以前は反対して否決をしている。今回は、組合と妥結して決まった段階で議案が提出された。確かに権限委譲で仕事も増えている。職員のボーナスは減額しない。基金積立ができていますので、他の方法での財源の捻出は可能であったかもしれないが、市長の判断ということもある。3会場とも同じ意見が出た。今後、執行者に対しての意見の参考にさせてもらう。</p>
<p>職員の給与削減について、議会ではどのような議論になったのか。全員賛成なのか。</p>	<p>賛成多数で可決した。6人が反対した。</p>
<p>市職員の給与は削減し、議員報酬は据え置きでは市民が納得しないのでは。</p>	<p>議員定数を25人から20人に削減をした。報酬についても県下では最低ラインである。政務活動費について、年間720万円の増となるが、全体では1,780万円の減となっている。職員の給与削減については、労使協定ができていたので認めた。</p>
<p>議員以上の給与を受けている人は。</p>	<p>市職員の係長クラス以上である。</p>
<p>1億7千万円の交付税減の市民への影響は。</p>	<p>地域の元気づくり交付金が5,700万円入ることや、職員の退職者40人に対し、新規採用が20人であり、決算時には影響はでないとの事である。</p>
<p>議員報酬は今回減額しなかったのか。</p>	<p>減額していない。定数を5人削減したことで、約2,500万円の効果をだしている。</p>
<p>職員の給与カットに合わせ、議員の報酬減額をなぜしなかったのか。</p>	<p>職員の業務に対するモチベーションが下がること、地域経済への影響が懸念されることなどのため。また、議員定数も今期より5名減となり、2,700万円程度の経費削減となっている。広大な市域の中で議会の権能を發揮し、市民の負託に応えようとすれば厳しい現状にある。</p>
<p>議員報酬は減額しないのか。</p>	<p>庄原市の議員報酬は県内でも低い方である。また、議員定数も減らし、努力している。</p>
<p>議員報酬の減額はしないのか。</p>	<p>本市の場合、議員報酬は近傍類似と比較しても低位にあり、現状維持ということである。また、今期より定数を25人から20人にするにより、2,500万円程度の財源確保に貢献している。</p>

質疑・意見	会場での回答
議員報酬は下げないのか。	議員定数を25人から20人に削減をした。その結果、報酬は2,500万円の減となり、政務活動費720万円の増額があるが、トータルで1,780万円の減額となっている。議員も定数を減らして身を削っている。ご理解いただきたい。
職員等の給与削減はいつまで行うのか。	来年3月までである。
地方交付税の減額は2億3,000万円とのことだが、職員給与の減額をして、あとの差額分はどこで帳尻をあわせるのか。	職員の新規採用者や退職者があつたりするので、そこで穴埋めをする。
そのくらいでは差額分は出ない。もっと詳しく説明してほしい。	実際にはまだ国からの交付税の額は決まっていない。7月中旬に交付額が決まる。それ以降の取り組みである。
職員の給与減額検討の中で、新陳代謝で補うとのことだが、これは行政努力ではない。本気で災害復興に協力するならば、2年かけてでも行うべき。すべきことをせず、交付税を何とかせよと国に泣きつくのはいかなものか。筋を通して欲しいし、安易な議論で終わったのではないか。	1月に法案が通過した。国家公務員は7.8%減額している。地方に対して協力をではなく、法的措置をとってきた。国に意見書も提出している状況である。
交付税減額、職員給与カット、そして議員報酬削減に関する検討のいきさつは。また、職員給与の減額と議員報酬削減は、区別して考えるべきではないか。	<p>震災復興・防災対策を目的として国家公務員2年間の時限カットを実施。地方も国家公務員ベースに沿ってほしい旨の要請。国の強権に反対する意見等、賛否さまざまであった。賃金は労使間の合意により決定されるのが基本。前回は労使合意がなされない中での提案であり反対が多数であったが、今回は合意がなされた中での審議であった。</p> <p>また、議員報酬は、議会改革の中で過去4年間議論し現状の32万5千円が適当と判断した。議員定数も今期より5名減とし、財源確保にも一定の貢献をしている状況である。</p>

質疑・意見	会場での回答
<p>職員賃金のラスパイレス指数が100を超えていけばカットすべきで、以下なら削減は必要ない。議会の採決は時によりバラバラであるが、職員給与に関する基本的な考えはどうか。また、議員定数を減らす中で、報酬をどのようにするか基本的な考えを持つべきである。</p>	<p>地方自治体は以前から経費削減に努めているし、特に合併以降、職員数削減や特例減額を実施し、ラスも90を切ることもあるような大幅なカットも行ってきている。本来、地方公務員の給与は地方が独自で決めるべきもので、国の関与がなされること事体が異常であり、議会・執行者共に意見書も提出するようにしている。また、労使が合意しているならば尊重すべき面もある。</p> <p>議員報酬については、議会としてもさまざまな議論を重ねたが、報酬審議会へ委ね現在の水準を維持ということになった。</p>
<p>市職員の減給について、24年3月は否決であったが、今回可決した理由は。</p>	<p>賛否は個々の議員によって違うが、議会としては否決という形になった。個人的な思いとして、前は、労働組合との妥結が十分ではなかったと解し、否決した。</p>
<p>継続審議の具体的な内容は。</p>	<p>各委員会2項目から11項目について、今後調査活動をしていく予定である。</p>
<p>閉会中の継続審査の項目をそれぞれ説明してほしい。</p>	<p>(委員会ごとに説明)</p>
<p>継続審査の中に、放課後児童クラブ・放課後子ども教室のあり方について、とあるが問題でもあるのか。</p>	<p>受け入れ年齢の問題、利用者数の問題など新たな課題について調査する。</p>
<p>継続事業の放課後児童クラブと放課後子ども教室の内容はどういうものなのか。</p>	<p>児童クラブは小学校1年生～3年生まで、子ども教室は1年から6年生まで受け入れている。クラブは指導員、教室は地域が面倒をみる形である。</p>
<p>今年になってから、放課後児童クラブにおいて、4年生以上の受け入れが打ち切りとなった。6月定例会で4年生位になると自立できるとの答弁をされたが、例えば4年生以上の一人っ子で両親が共働きの場合などは困っておられる。子育て世代の負担軽減を言われているが、逆行しているのではないか。</p>	<p>このたびの議会において、一般質問に対する答弁では検討するという内容であったと思う。議会においては、教育民生常任委員会で閉会中も継続して調査研究することとしている。</p>

質疑・意見	会場での回答
<p>継続審査の中に、生活交通についてとある。八幡地域でも3路線について見直しにむけて提示されている。個々の路線について議員は検討しているのか。</p>	<p>路線を維持するための財源、利用者数、地元の声などいろいろな角度から検討はしている。しかし、決定的な解決策がないのが現実である。</p>
<p>定住促進を考えると、路線見直しは言われていることと矛盾があるように思う。</p>	<p>議会は予算審査も行うが、一方では決算審査において、費用対効果で効果が少ない事業は削減を執行者にせまる。費用対効果では押し量れないこともあり、悩んでいる。</p>
<p>塩害の一般質問について、市長の前向きな答弁をきいた。市長の提案の後押しを議会にもお願いしたい。</p>	<p>意向に沿うよう取り組む。</p>
<p>ジュオン問題における100条委員会設置の発議が否決されたのはなぜ。議会の権能を発揮し、責任の所在を明確にするなど市民の付託に応えるべき。議員それぞれの考えを聞きたい。</p>	<p>議会の結論として6月は否決となったもので、各議員とも早い究明を求めることに変わりなく、9月へ向けての動きとなる。</p>
	<p>環境・エネルギー問題の視点から重要な課題であるが、率直に言ってバイオエタノールについて無知であった。市の責任、農水省の責任、議会の責任と様々な声がある。公判中でもあり、それらの結果に基づき議論しなければならない。</p>
	<p>日本中がエタノールに湧いていたこともあるが、事業変更のときなぜ中止を決断しなかったのか悔やまれる。警察権力以上のことが可能か疑問である。議会には認めた責任があると思っている。本質を突き止める力が弱いのは事実だが、うやむやにする考えはない。</p>
<p>一会派の突然の提案であり無理もなかったと思うが、警察は刑法に基づき調べ、100条委員会は経過等を明らかにするものであり、司法とは別である。この4名の議員の力で議会が主導権を持ちやっただきたい。</p>	<p>当時、議員ではなかったが、先送りせずしっかり終わらせ、説明責任を果たしたい。</p>

質疑・意見	会場での回答
<p>発議 100 条調査についてなぜ否決したのか。</p>	<p>高裁で係争中である。全事業調査の報告が揃った段階で、第三者委員会の報告と併せ具体的な議論になろう。議員構成も代わり、一定の合意形成の基で行うべきというのが大半の意見である。</p>
<p>6月定例会で発議された 100 条委員会が否決された理由は何か。</p>	<p>新しい市長となり、機械などの調査をし、結果が出されようとしている時期であるので、反対した。100 条委員会は、相手に出席してもらわないと何もできない。係争なので、相手は出てこない。</p> <p>個人的な意見だが、このことについては市民の方から多くの声が上がっており、今は誰も責任をとっていない状況である。議会しか解明することはできない。裁判中のこと以外の、市長・議会の責任を明らかにしたい。法的に保障された権利である。</p> <p>第三者委員会からチェック体制が甘いと報告された。事業をやりたい業者が、機械が動くかどうか取り組んでいる最中であり、その結論がでないとなかなか進まない。裁判はなかなか先に行かない。100 条調査もなかなか進まないと思う。今の段階では 100 条委員会の権限は機能せず、設置には反対である。職員力・議員力をつけることが大切。今年度予算をいただいた、政務活動費を活用していく。人を育てることにお金をかけたい。</p>
<p>市長に対し、議会の中でもしっかりチェックしていた議員がいたが、問題を指摘することができなかったのではないかと。市役所内の風通しが悪いのではないかと。</p>	<p>言い訳になるが、チェックできる時間的な余裕がなかった。追求する力がなかったことに反省している。職員は一生懸命やっている。議会も一生懸命やりたい。</p> <p>補助事業は、国→県→市が普通の流れだが、この補助金は県をとばしている。個人的意見だが、農水省は責任をとらない。国の大きな事業であった、国も指摘・助言があってもよかったのではないかと。</p>

質疑・意見	会場での回答
<p>6月定例会で2人の一般質問に対して、第三者委員会の結論が出てからという答弁があったが、木質バイオマスの件について聞きたい。</p>	<p>定例会ごとに、この件に関する質問は必ず2,3件出ている。この件について、第三者委員会の検証結果は示されており、市の取り組みとしてどうであったか、また、きちんとした流れの中でやってきたのかという中身の検証がされた。今、1審判決が出て、言葉は悪いが庄原市は騙された。1審判決は実刑であったがすぐ控訴している。市長は現在、判決がはっきり出た後に広大な森林資源を活かすために、新たな検討委員会の中でしっかり検討していただき判断していこうという考えである。議会の中でも考え方について常に議論している。6月定例会で100条委員会について発議が出されたが、検察以上の内容は出ないであろうという判断で否決した。</p>
<p>事業としての、チェック機能の甘さは行政の失態である。第三者委員会の答申に基づき議会の討議はされていない。今後の方向性について知りたい。100条委員会は設置してほしかった。うやむやにしないことが大切である。有罪になっても、なお、控訴する理由は何か。適化法に違反をしていないから、行政にも責任があると思っているのではないか。庄原市は共犯ではないかと思える。意識を高くして考えてほしい。</p>	<p>控訴の関係についてどのようになされたかは、議会への報告はない。庄原市のチェック機能が足りないことが、控訴の理由につながっているかどうか確認していない。執行者に対するチェックは、議会の中でしっかりやっていきたい。</p>

質疑・意見	会場での回答
<p>行政も議会も断念した場合、4億5千万円の補助金返済が必要となり、事業を継続した場合、1円たりとも返金しなくてもいいのか。</p>	<p>実際、今、事業として、プラント整備が完全にできるかどうか、計画通りに機能するかどうか、民間会社がケミカルの許可を得て試運転をしている。プラント事業に対して、国庫補助が4億5千万円。事業中止を国が決定した場合、返還しなければならない。いろいろ引っ付いて6億円位になると思う。この事業は、国が強い方針の中で進め、庄原市は委託して事業を進めた。国と相談しながら進めてきた経緯がある。国庫補助金の流れは、使う順序も方法も、国の強い指導の中で行ったと確認している。なかなか庄原市だけの考えでは決着が付かない。議会としては、お互いに忸怩たる思いがあるが、しっかりとした方向性が示されなければ、方向付けは難しい。後継企業が事業継続すれば、不正受給している内の2億円ですむ可能性もある。検討委員会の報告を待って、市長は事業の採算性を考えると思う。</p>
<p>ジュオンの問題は どうすればいいと思うか。</p>	<p>新市長の考えのように、速やかに補助金を返還した方がいい。後継企業が進めるのであれば、いい機械も入っているので、庄原市の木材利活用を考えたい。市民の皆さんに、分かりやすい方法と分かりやすい言葉で経緯をお伝えすることと、84%の森林資源を有効に活用できる方策について、議会としてもしっかり議論する必要があると思っている。木材をいかに活かすか方法は考える必要はあるが、今回は失敗である。事業中止命令の次に補助金返還。財源については執行者に考えてもらいたい。機械は日本有数の価値がある。民間事業者の参入により、庄原市の森林資源を活かしていただきたい。</p>
<p>まず、事業の中止命令、返還命令を早く出してほしい。機械もジュオンの持ち物であるから、きちんと整理をしてほしい。</p>	<p>こちらもイライラしている。国庫補助金には、こう使いなさいという流れがあり、国からの事業中止が出ていない時点で、庄原市が勝手に判断すれば、補助金を全額返金することになる。早く決着をつけたいという思いとは裏腹の部分がある。</p>

質疑・意見	会場での回答
<p>バイオマスの利活用についての事業は発想としては非常に良かったと思う。総合的な林業を進めていく上で、シュオンのことだけを考えるのではなく、広大な工業団地のあり方の一つとして、製材所の建設やペレット発電等、大きな流れの中で産業を考えていくべきではないか。</p>	<p>十分に検討させていただく。</p>

3) その他の質疑・意見

質疑・意見	会場での回答
<p>ジュオンの今後の対応は。</p>	<p>市の報告に対して意見を述べる議員全員協議会では、全体としての結論は出ていない。グリーンプレジールが粉碎機を試運転していない現状では、様子見の状態である。</p>
<p>ジュオン問題について、第三者委員会から報告書が出ているが、それについて議会ではどのような議論をしたのか。少なくとも、継続審査にすべきではないのか。</p>	<p>大まかでは、産業建設常任委員会の継続審査項目の「林業振興施策について」の中に入っている。委員会でも話は出た。中身は到底理解しがたい話だと思った。</p>
<p>議会はもっとしっかりしてほしい。要望書を出して、今日回答を聞いた。100条委員会について、なぜ報告をしないのか。(事実、この件については、報告者が漏らしており、後から追加報告という形となった。) どう受け止めているのか。</p>	<p>昨日も裁判があった。次回、9月26日にも公判がある。全事業調査をやるようになっている。</p>
<p>議員は、この報告書を読んだのか。「この黒塗りの所を明らかにせよ！」となぜ言わないのか。</p>	<p>プライバシーの問題もあり、明らかに出来なかったのではないかと。迷惑をこうむる人もおられるので。</p> <p>今日の話委員会に持ち帰る。いずれにしても、これから調査を進めていくことになる。</p>
<p>昨年も持ち帰るといって、何の回答もなかった。</p>	
<p>ジュオン問題は、早く解決すべきである。</p>	
<p>木質バイオマスの件について気がかりだ。新市長はどういう考えを持っているのか。いろいろ資料を取り寄せて経過を見ている。我々行政経験者の目から見ると不思議に思う。納得いかない。補助金の取り消し命令をなぜしないのか。議会の見解は。</p>	<p>現在公判中である。取消をすれば補助金を全額返さなければならない。</p>

質疑・意見	会場での回答
<p>公判（高裁）の判決が出ないと動けないというのか。</p>	<p>交付金は返さなくても良いという話が出た。そのためにも事業を継続しようということで再生に向けてやっていたら、NHKの報道があった。その後東大阪の会社との第三セクターの話が出てきたが議会は否決した。返還しなくてもいい方法を農政局との話で進めているのだと思う。議会では特別委員会でもこれ以上市費を使うなどと言っている。民間会社が機械を動かしたいと言っているが、これ以上手を出すまいというのが議会の大多数の意見だと思う。</p>
<p>新しい会社も何者かわからない。よく調べる必要があるのではないかと。前例と同じようにならないように。だまされたから返さなくていいという話にはならない。どうするのか。新たな投資はしないというのはわかるが、一方では4、5年したら返さなくてもよくなるのではという話もある。</p>	
<p>市民の最大の関心事はジュオン問題である。被告は水増し請求を認めている。有罪判決も出た。補助金交付規則に基づき、交付決定取消・返還命令を行い、補助金の返還を求めるのが当然だが、執行者はなぜそうしないのか。また、このことを議会はどう受け止めているのか。チェック機関としての役割を果たすべく、どう対応しようとしているのか。</p>	<p>これ以上の投資は認めない。係争中であり報告を受けつつ対応している。</p>
<p>ボイラー、エタノール製造関係設備を市が取得するとは。取った者から買うのか。泥棒に追い銭である。市長が動かないなら議会が動くべき。議会は市政の最大のチェック機関であり、有効に機能しなければならない。</p>	

質疑・意見	会場での回答
<p>シュオン問題について、意見として持ち帰り議会活動に反映されたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長は早急に結論を出さなければならない。議会はそのことを促し後押しすべき。</li> <li>・議会はずっと認めてきた。執行者と同罪である。</li> <li>・市は全ての情報を開示すべき。市民に十分な説明を行ってきていない。</li> <li>・以前、企業を誘致する際には、特別委員会で十分な調査を行っていた。合併以降、おかしくなっている。</li> <li>・このような事案は筋を通すべき。返させるものは返させる、国へ返さなければならないものは返す。</li> <li>・当時の市長と議員には責任がある。大半の市民は、元が税金であり責任を取り負担すべきと思っている。このことも含め議会でも議論をすべき。</li> <li>・庄原市の信用は地に落ちた。県庁に出向いても扱いでよく分かる。信用回復をしてもらいたい。</li> </ul>	<p>議会として議論不足であったことは否めない。しっかり対応する。執行者へも伝える。</p>
<p>シュオンの問題は新聞報道でしか入ってこないが、何が問題で、今後はどう解決してくのか。</p>	<p>東京国税局の指摘から発覚。安い機械を購入し、高い機械だといって補助金を騙し取った。補助金の不正受給があったとして、庄原市が告訴した。どれだけの額かは不明。国が庄原市をとおして補助金を出しているが、農水省は責任を負わない。年末に、事業継承したいという民間会社が出てきた。民間二社と庄原市で第三セクターを作ると提案されたが、議会は否決した。機械を試運転しようとしている。東城の温泉のプラントも庄原市が買う予定になっている。第三者委員会の報告書が出されている。庄原市の責任が問われることが記述してある。</p>

質疑・意見	会場での回答
<p>説明を聞く限り、この事業は支離滅裂だ。価格のチェック体制に不備があったのではないか。専門家の意見を聞きながらやる体制が組まれるべきだった。庄原市の責任である。リスクマネジメントができていない。大きな事業をやる場合、プロジェクトチームを組むなどしないと、同じことを繰り返すことになるのではないか。</p>	<p>議会の責任も重大である。新しい市長で結論が出せる。もう少し待ってほしい。</p> <p>取得時の価格を3億5千万円過大に請求していたことが判明した。もっと職員力をつけないといけない。職員の自己申告研修制度の予算が少ないし、活用回数も少ない。議員も政務活動費を5月から予算化している。</p>
<p>ジュオン問題について、補助金の返還など議員の個人的見解を聞かせて欲しい。</p>	<p>基本は補助金を返すべき。三セクを設立しての事業継承は不可。企業が独自に継承して行うべきで、市はこれ以上の公金投入等の関わりは持つべきでない。</p> <p>補助金は返還し、整備済みの施設は民間で独自活用すべき。市は資源エネルギー活用の視点で対応を。</p> <p>補助金は返還すべき。事業継承するなら民間企業が独自で行うべき。他の補助事業は確実に実施しているのに、この事業のみの的確になされていない。資金状況も確認しないで取り組んだことなど厳しく追求する。</p>
<p>ジュオン問題、議会としての解決策を示すべし。事件の真相究明も必要と考える。補助金も返還すべきと思う</p>	<p>議会の中でも意見が分かれているのが現状である。現在、新たな会社が事業の継続を模索しているので、見守っているというところである。</p>
<p>ジュオンの問題について、何らかのけじめをつけてはどうか。</p>	<p>責任問題等、まだ進行中である。後継企業が調整運転を考えている。市長は今後検討委員会の設置を考えている。皆さんからの建設的なご意見もいただきたい。</p>
<p>木質バイオマスの件について、発議を否決したとのことだが、議会はどうしたいのか。</p>	<p>6月議会で100条委員会設置の発議を否決した。検察の調べ以上の内容は出ないとの判断であった。一審で実刑判決が出たが、すぐ控訴している。庄原市のチェック体制の不備があった事などは、検証委員会の報告書にて確認している。この事件には様々な事情がある。今後執行者からの方針を聞く中で、議会として判断したい。</p>

質疑・意見	会場での回答
<p>庄原市は悪くないと、一番いい条件で2年6ヶ月の一審が出たと思う。議員には活動費も出たのであるから、もっと積極的に早期解決に向けて、閉会中も審議され、一応決着を着けてはどうか。</p>	<p>投げているわけではない。国の推奨する事業であっただけに、国と協議しながら進めてきた。市は事業取消と中止命令をかけなければならないが、詐取は2億で、それを国から返還請求されると言われている。請求がないうちに返せば善管注意義務違反となる。国からの指示が無ければ事業中止命令は出せない。新市長が検討委員会を立ち上げようとしており、それを注視している。</p>
<p>執行者と議会が提案すればできるのではないか。</p>	<p>資金の流れの関係もあり、清算する訳にはいかない。市長は検討委員会を立ち上げる考えである。議会としても定期的に会議を開催している。</p>
<p>木質バイオマス関連事業について、前市長は失敗を認めていない。市が共同事業をした、その一方を訴えて何が残るのか。前市長の現職時に解決してほしかった。議会で賛成した以上、議員にも同じ責任があると思うが、どう考えているのか。</p>	<p>現段階で議会としての方針は見出していないが、補助金を返さずに解決することはできないと考えている。事業内容を次々と変更し、財政上動き始めたことを止めることは難しかった。議会にも責任があることは承知している。個人的な意見だが、会派市民の会では、昨年の議会において、このことに関する決議を提案したが、否決された。</p>
<p>ジュオンの事業について、なぜもっと企業調査を行っていなかったのか。木材の価格が全然わからない職員が担当していたのではないか。それも今回の事件を大きくした要因ではないか。市民はマスコミから情報を得ることしかできず、市や議会からの情報が少なすぎる。新市長は事業を継承するのか。</p>	<p>何を言っても、今は言い訳になると思っている。現段階で言えることは、補助金返還について早く解決をしなければならない。事業継承を検討する場合においても、市の公費を投入しないようにチェックしていかなければならない。事業継承については、現在機械の稼動状況などの調査をしている。</p>
<p>議会改革の今後の考え方について、木質バイオマス第三者検証委員会の結果では、市内部のチェック機能が指摘されている。議会改革ではチェック体制機能の強化が重要なのではないか。口利きなどの不要な活動が本来行うべき議員の仕事の妨げになっているのではないか。</p>	<p>チェック機能の強化は当然であり、議会基本条例を作り、執行者からの資料提出を強く求め、チェック機能の強化に努めている。議員が本来行うべき仕事を明確にするため、政治倫理条例を策定した。しかしまだそれを具体化させることができているので、議員構成が変わったこの機に議論したいと思っている。</p>

質疑・意見	会場での回答
日赤病院の産科の現状はどうなっているか。	助産師確保と施設整備はできている。あとは医師の確保のみ。少しではあるが前進している。
庄原市で子供が産める環境を整えてもらいたい。	産科の休止の時期から比べると、全体の機運は前進している。
まちづくり基本条例の中の企画、提案の強化をしなくてはならないとは、どんな姿をイメージしているのか。	委員会で提案する議会にならないといけない。チェック機能から提案できないといけない。
議員立法はあるのか。	今はない。
庄原市として、特色あるものがほしいが考えはあるか。	多くの議員の一般質問で、子育て、定住の問題が質問されたが、今現在では、特徴的なものはない。農業、観光の振興しかないのではないかとも思っている。
合併すると、中心部が良くなり周辺がますます悪くなる。議員も減っている。総領町は議員がいなくなった。議員がいる所だけ要望が通り、周辺はますます疲弊する気がする。地方が元気になる考えを聞かせてほしい。	道の駅たかのも松江道ができたことで観光客が増えている。観光だけは、数が増えている。この方面に力をいれたい。自治振興区の自発的な活動にも期待したい。
	定住対策として、教育、保健医療で対策が出来ないか探りたい。
	文化などの面で周辺部が中心部より元気がよい。周辺からもりあげて変化させないといけないと思っている。
高速が無料というメリットを生かして企業の誘致は出来ないのか。こういったことは振興区の活動の域を越えている。	定住に関しては、庄原市はPRが下手だ。目玉が無い。UターンよりIターンが多い。庄原市は、原発、地震、津波などない安全な地域ということを知ってもらっきっかけ作りをしていきたい。
元気のある町にするため、活性化を図りたいがどうすれば。市民として行うべきことは。	一例として、東城の街中・総領の節分草では、地元の人が声をかけるようになること、田舎の親切・顔と顔を合わせる喜び等が功を奏している。何としても町の中へ人を呼び込む工夫を考えなければならない。この地域の街中広場は、世界一の庭園デザイナー石原氏が携わられたもの。地域にはこのことすら知らない人もいる。

質疑・意見	会場での回答
<p>用地取得・本設計までなされていた総合福祉センターが中止となった。福祉行政に力を入れるべきと考える。</p>	<p>福祉センターについては、政策判断における一つの結果であり、引き続き福祉について真剣に検討していく。</p> <p>世代間格差が顕著になってきた。先送りすることなく、継続性のある福祉行政にしなければならないと思う。</p>
<p>市内における福祉行政は、どの地域にも均等に手が差しのべられるべきであり、全市において差がないようにすべきでは。</p>	<p>自治会活動の差等により地域格差が出てはいけな。どこまでサービス提供をすべきなのかということもある。本市の大きな課題であり真剣に検討していきたい。</p>
<p>あけぼの荘について、合併後、住民の間で意見が出ている。自分は在宅介護者の会を立ち上げており、高齢者はあけぼの荘が復活し、地域のやすらぎの場となることを楽しみにし、期待している。</p>	<p>地元から声を大にしてほしい。現在、あけぼの荘の調査費として140万円予算化している。個人的な意見だが、比和での議論を積み上げ、長期総合計画に載せなければならないと思っている。</p>
<p>新市長のマニフェストをどう思うか、個人的意見を聞きたい。</p>	<p>庄原に住んでいちばん良かったと思われるように考えていきたい。</p> <p>物質的な幸せではなく、心のいちばんだと思う。年間600人減っている庄原市は、15年経つと3万人を切ると言われている。これは全国的なもので、その中でどうやって生きていくかが大切。地域で支えあい、その中で満足するようなまちづくりをしたい。</p>
<p>環境問題について、現在、中山間地直接支払制度で草刈りを頻繁にやっており、その草刈機から発生する二酸化炭素で、温暖化が進むのではないかと思う。環境のためになっていない。また、農薬に対する課税は100%にすべきと思うがどうか。ボトムアップで国へ伝えてほしい。</p>	<p>確かに二酸化炭素の発生は抑えなければならないが、農地の保全の面からみると必要だと思う。頻度の問題だ。農薬の過剰使用は、人間の健康面にも影響が出る。輸入米に対する農薬も問題になっているが、最小限にとどめるべきだと思う。課税については、私たちの権限を越えるのでなんとも言えない。国の仕事である。しかるべき場があれば国へ伝えたい。</p>

質疑・意見	会場での回答
<p>三楽荘の問題について、当初からわかりにくいことだった。重要無形文化財に指定するのなら、地元の（文化財保護）委員に相談すべきだが、何の相談もなかったと聞いている。週3日しか開かないのに、補助金を出すのはおかしい。いきなり指定管理者ありきではなかったのか。我々が補助金を申請するときは、色々な書類を作成して、作文も書いて出すのに、三楽荘は簡単すぎたのでは。</p>	<p>確かに、施設改修等について次々と市費を投入している。現在、管理については指定管理とせず、東城支所の職員がやっている。これ以上の市費を投入すべきでないと考えている。</p>
<p>庄原市は人口の割に、市の指定管理費が多すぎるのではないか。県内で上位3番目だ。</p>	
<p>公社、第三セクターはどのくらいあるのか。県農林振興センターが破綻したが、市は大丈夫か。農林振興公社の決算報告がなされていない。市民には見えないのでわからない。順調にしているのか。</p>	<p>農林振興公社について、八木店は黒字ではあるが順調ではない。今、議論中である。</p>
<p>公社等の決算報告について、議会だよりも公開すべきではないか。</p>	<p>そうすべきと思うが、議会だよりもに馴染まない。</p>
<p>高地区では放課後子ども教室を運営しているが、指導員不足で悩んでいる。子ども教室や児童クラブの指導員交流派遣、教員やOBの活用など、急場をしのぐスタッフヘルパー制度のようなものはできないか。また、子ども教室と児童クラブの一本化も検討すべきでは。</p>	<p>所管も違い難しいと思われるが、一本化も含め検討したい。</p>
<p>TPPについてどのように考えているか。</p>	<p>議会として賛成という者はいない。特に、この地域において農業を守ることは原点である。意見書も出している。</p>
<p>放課後児童クラブと子ども教室は内容が違い、地域の実情に応じて選択している。安易に一緒にして中途半端にならないように。</p>	<p>その点は注意して検討したい。</p>
<p>新市長になり変わったことは。</p>	<p>6月定例会では最初ということもあり丁重だった。今からである。</p>

質疑・意見	会場での回答
<p>開かれた議会として、我々の意見を議会で議論するようなことはできないのだろうか。広島県は予算審議でそのようなことをしている。市に対して、我々から提案できる場、シンクタンク的なものがないだろうか。職員は考え方が固定化する傾向が強いので、市民の声を届けたい。支所の機能を強める支所長を育てていきたい。支所長の公募はどうか。</p>	<p>市としても市民から意見を聞く公聴会がある。ぜひ応募してほしい。いつも似通った人ばかりが委員になる。もっとそういった委員会などを利用してほしい。</p> <p>条例で参考人制度というものがある。こういったものを活用したい。</p>
<p>自治振興区の事務局員賃金が安い。事務局員の確保にも苦勞しており、待遇改善が必要では。</p>	<p>個人的見解として、全て行政頼みは無理であり、自治振興区のあり方も検討が必要。財源確保では、1/3補助金・1/3負担金・1/3自ら稼ぐ というぐらいの意識で行うべき。</p>
<p>自治振興区における事務局員の意識改革も必要である。また、支所・社協・学校・老人クラブ等の団体が、行事实施等において連携が取れていない。調整役を担うものがあればと思う。</p>	<p>自治振興センターが担うべきでは。例えば川北では自治振興センターにそれらの大半を組み入れることにより、うまく機能していると思う。</p>
<p>新人議員に問う。議員報酬では生活できないと聞かすが、その点を理解して議員になったのか。そしてそのような認識を持たれたかどうか。</p>	<p>出るときにははっきり認識していなかった。現在は、まだ間もないのでそのような観点で考えたことはないし、報酬の多寡で活動はしていない。</p>
<p>スポーツ少年団に携わっているが、保育所の公設民営が始まってからどうもおかしいと感じている。保育所の公設民営について、議員個々の見解を聞きたい。</p>	<p>現在、公設民営7・公設公営10という状況。公設民営は費用対効果が悪く、教育においては公設公営が適切だと思う。</p> <p>公設民営に対して批判もあるが、一方では特色ある対応もなされていると聞く。検証の必要な時期であると思う。</p> <p>民営化には反対である。民間委託の場合、行政が保育に十分な関わりが持てず、また営利の面は避けられないし、経験の無い人がいたり保育におけるトラブルが起こりやすい。民営化して経済的かどうか疑問。公設公営がよいと考える。</p>
<p>民営保育所職員の離職率が高いのが気になる。親のせいもあるが子どもに落ち着きがないなど、保育レベルが維持できていないと思う。</p>	<p>議会としては指定管理を可としているが、検証をしっかり行いたいと思う。</p>

質疑・意見	会場での回答
<p>市議会議員選挙が派手になり、経費がかかりすぎて、本当に優秀な人が立候補できなくなっていると思う。</p>	<p>意見として受ける。</p>
<p>高齢化と少子化、人口減少と言われる中、若者が庄原に帰ってきて就職できる企業を誘致、雇用の確保について、議会としてはどのように対応されているのか？</p>	<p>非常に難しい課題。いろんな取り組みをやってきているが、抜本的な解決ではない。やはり庄原独自の産業の振興が必要。抜本的には農林振興する以外にない。その中で働く場の確保をしていくしかない。議会としての一定の考え方、取り組みというのは決まっていない。</p>
<p>農協と提携するなどしているが、事務的な事ばかりでなく、技術的な戦略をもって展開していけるような施設または部署を作ってみてはどうか？</p>	<p>技術的なところで木質バイオマスの事業を展開しようとしたが、失敗した。では次に何をしていくのか、議会としても定住なども含めて研究しているが、実践例があるのは、地の利があったり、人口が非常に少ないところであったりといった状況である。人口増は小さい市町でないと政策が反映しにくい。庄原市が持つ物を活用して産業振興するしか今のところ道がない。</p>
<p>JA とのつながりができていないのではないか。</p>	<p>行政とJAは一体的にやっていく必要があり、タイアップしてやっていく。具体的な手法については十分な協議がなされている。</p>
<p>庄原市の公共事業の行く末は今後どのようになるのか。</p>	<p>公共事業は減っていることに間違いない。建物、道といっぱい作ってきた。これを続けることはできない。例えば庄原市の市道の総延長は2000km。これを延長し続ける事は困難。今後の公共事業の中心は、修繕、改良などになっていくと予想される。国が大きな事業を計画すれば別だが、客観的な話として、今後庄原市で公共事業が増える要素はほとんどないと思われる。</p>

質疑・意見	会場での回答
<p>道の駅たかのの採算はどうなっているのか。中身の問題として、この先の魅力をあまり感じない。通れば寄る程度。食事について、価格と味の比較で不満を感じる。</p>	<p>現在は好調。将来に渡ってそうであるかについては、課題を残している。当初想定していた来客数を大幅に上回っている。今後は販売商品を計画的に生産する、価格の適正化といった課題がある。</p> <p>団塊世代の旅行先となるようにしたい。全線がオープンして、他に客を取られないように、緊張感を持って取り組みたい。</p>
<p>地産地消を掲げて高野に道の駅が建設されたが、高野地域だけでは物品が不足するのではないか。休耕田の活用策を考えるべきと思うが。</p>	<p>確かに不足している。八木店やゆめさくら、きんさい市等もあり、組合長と市長との話し合いも必要と思う。</p>
<p>市民の会2名が、教育長の選任同意について反対したのはなぜか。</p>	<p>個人的な意見になるが、庄原市の教育長選任については、広島県教育委員会直轄の人事が行われているおり、その選び方について反対した。庄原市独自の地域教育を実現させていくには庄原市の人材を登用すべきと考えている。</p>
<p>人口減少社会に対してどう歯止めをかければ良いと思われているか。私は、やはり職がないことが一番の原因と考える。</p>	<p>若者が住みやすい環境を整える必要がある。それは、子育てであったり、医療の充実であったり、住宅問題もそうだ。そして、やはり庄原の基幹産業であるべき林業や農業で雇用を創出する方策を探っている。JA 庄原の6品目に特化した特産品化には JA 独自の補助金も出されているが、そういった取り組みを後押しする支援体制も検討していきたい。</p>
<p>中山間地域は農業と林業が中心である。庄原市の農林業は今後どのようにしていくのがよいと考えているか。</p>	<p>どのようにしていくのがいいのか、一言では回答しにくい大きな問題である。林業面では庄原市の84%が山林であり、うち人工林も60%を超えている。林業の本来の目的は住宅への利用であったが、利用の形態も変化している。市内には膨大な量の木材があり、バイオマス発電など、住宅以外での利用も含め有効利用できる。</p> <p>また、農業ではがんばる農業支援や重点品目への施設整備補助などにより、生産拡大に取り組んできており、今後も、どのような状況になっても、庄原は農林業を中心とした有効な方策が必要と考えている。</p>

質疑・意見	会場での回答
<p>閉会中の継続審査について説明があったが、農業振興と林業振興については今年が初年度の取り組みということか。</p>	<p>生産から販売へという観点に立ってこれまでも取り組んできた。林業に関しても調査研究を継続して進めている。</p>
<p>合併時に持ち寄った起債の償還は順調に進んでいるのか。</p>	<p>庄原市で新規の事業をするためには、新たな起債が必要となる。合併して9年目に入るが、持ち寄った起債のうち100億円位は減ってきている。所要資金と起債と年々違う交付税の中で、庄原市はやっている。合併当初、北海道の夕張市が破綻し、庄原市もこうなるのではないかとの報道があったが、滝口前市長は、起債残高を減らしたいとの意向であった。借金の返済が、一般会計の中で占める割合の25%を超えた場合、市独自の予算は立てられなくなる。28年度末までに18%に下げると固い計画を立てられた経緯がある。財政のやり繰りをしながら起債残高を減らしている。</p>
<p>4月の市広報には平成17年度末574.4億円。平成25年度末の市債残高の見込みは440.9億円と記載されているがどうなのか。</p>	<p>実質公債比率が19.9%で県内14市中ワーストワンになる。災害などの関係で、27年度末までの計画が1年ずれ込んでいる。</p>
<p>現在の最低賃金は時給719円であり、男性がフル回転で働いても140万円位にしかならない。1,000円になれば生活が少しでも楽になるが、庄原市の取り組みを聞きたい。</p>	<p>労働の基準単価として定められている金額である。国の経済状況や企業の努力も関連することと思うので、答えられない。</p>
<p>職員の資質向上についての取り組みは、大竹・因島等においては積極的に研修をさせ、情報を出さしている。議会からも強い姿勢を示すべきでは。</p>	<p>これまでも、厳しく執行者に要求している。知恵を出したり、仕事をするのは職員である。職員の資質向上は住民サービスの元である。200万～300万の予算を計上されているが、なかなか満額使えない状況にある。これからも要求していく。</p>

質疑・意見	会場での回答
<p>昨年9月と12月に出された三楽荘の指定管理の件が否決された。その件への思いと、三楽荘の現状について聞きたい。</p>	<p>合併後、まちなみ保存振興会を立ち上げ、三楽荘を中心に賑わい創出を取り組んできた。指定管理を否決された議員個々のご意見を伺っていないが、否決された事実は受け止めざるを得なかった。三楽荘では先日も本村出身の書道家坂口さんを招いてのイベントの中で、ワンデーシェフや楽器演奏等も行われた。昨年の「お通り」には1日3千人の来館者があり、今年の春祭りにおいても3千人の方にご来場いただいている。リピーターの方が非常に多いのが特徴でもあり、「夢街道ルネサンス」にも選ばれたまちなみの中央に位置する三楽荘は、庄原市として残された事は大正解だと思っている。現在は新たに立ち上げたグループが使用の申請書を提出してイベントを実施している。</p>
<p>市道の草刈について、地元と業者との基準は何か。</p>	<p>市の土地から生えている、竹や木などが交通の妨げになっている場合は責任は市にあり対応しなくてはならない。</p>
<p>中山間地の補助金や、1mにつき10円の管理費はあるが、高齢化に伴い、農道私道の畦畔の管理が負担になってきている。どう考えているのか。</p>	<p>2・3年前は7円だった。地域の美化運動や環境整備として行政が依頼している実態がある。営農集団の関係や、法人も増える状況の中で、将来どうするのかできる範囲内で、地域の問題として考えていきたい。国・県道の草刈りとは単価がかなり違うと思っている。</p>
<p>地元の資源の活用策として、農畜産林業の企業の立ち上げが必要と思うが、どのような考えか。</p>	<p>市の方針というより個人的な見解であるが、木材を利用した発電について早く学びたい。神石高原町でも立ち上げると聞いている。山内の竹パウダー利活用等、少しでも高く売れるブランド米ができればいいと考えている。</p>
<p>林業の6次産業の考え方については。</p>	<p>木材発電とか、今後進めて行きたいと考えている。</p>

質疑・意見	会場での回答
<p>コンサルへの丸投げが多いように思う。職員の再教育をするべきではないか。</p>	<p>職員の資質向上については度々執行者に伝えてきている。他の自治振興区からも意見として出ている。自己啓発研修について予算措置も200万～300万しているが、実際には満額利用されていない現実がある。職員には自ら育つ意識、執行者には育てる姿勢を持ってほしいと声を出している。</p>
<p>職員の資質向上に、どのような方法があると考えているか。民間では可能でも公務員は無理な部分があるのか。</p>	<p>(個人意見として) トップや各課の責任者からの啓発も必要と考える。</p>
<p>職員を教育するというよりも、自ら考えさせる事が必要と思う。6次産業の生産から販売までの考え方や、大規模農家の支援策、米価の値下げによる影響等。国や県からの方針をそのまま受けるのではない方策を、職員のみではなく議員、市長にも考えてほしい。また、補助金が活かされているのかどうかを投げかけるのが議員の役目であると考えている。</p>	<p>そのように取り組みたい。</p>
<p>庄原市は農林振興と言うが、農業の従事者は60歳以上である。人口の流出をくい止めたいとの市長の言葉であったが、地域のアピールをする中で、流入の取り組みをしてほしい。このままでは農地は荒れてしまう。農業に従事したい若者に来てほしい。20年すれば人がいなくなる。</p>	<p>人口増加のためには、奥出雲町のように雇用を増やす事が大切であると思う。若者が来やすい雇用を生むようなものを提言していきたい。</p>
<p>情報網的な事も大切だが、上水道も無い地域もあり、青線の整備もなされていない。市民に密着したことを大切にしてほしい。</p>	<p>青線関係について、まずは境界を決めるところからである。今、地籍調査を進めているところであるが、広域のため時間がかかっている。</p>
<p>6月定例会に政治倫理条例に関する意見書を出そうとしていた。このことはチェック機能のことと関連しているので、財源がらみの問題などにけじめ付けてほしい。市長が提案する政策を、市職員がチェックすることは立場上困難。議会がそのあたりをしっかりとチェックしてほしい。</p>	<p>広島市議会は予算について、説明を徹底的にさせている。庄原市議会は予算の中身をわからずやっている面もある。議会改革で予算・決算特別委員会を常任委員会化することも検討している。</p>

質疑・意見	会場での回答
議会報告会の利点は。	報告会で議会が動くことができるようになった。議員が勉強するようになる。地域に議員を呼んでほしい。
議会報告会で出た要望等を議会で提案できることを期待していた。	
議員定数が25から20になった。感想はどうか。	総領町から議員がいなくなった。少ない議員で全域をカバーしていくためには、通年議会も検討しなくてはいけないのではないかと考えている。
議員定数減により良かったこと、悪かったことは。	現時点で良いか悪いかの結論が出ない。
議員定数について、昨年の議会報告会で25名を維持して欲しいと要望した。減数になると旧市町から1人も議員が選出されない地域も生じ、不利益をこうむる。実際、今年そうってしまった。以前の報酬総額を現在の人数で割ったような報酬となっているのか。今後の庄原市の人口が減っていくが、さらに減数になるなどの修正があるのか。	議会改革特別委員会で、報酬、定数、政務活動費について議論した。議員定数については、激しい議論が行われた。現状維持も削減もどちらの意見も出た。財政事情と人口減から20名にしようというのが多数派だった。予算的には定数減の部分は余ったかたち。当面の間は議員定数20名でという事になる。 これ以上定数を減らすと予算、決算の審議ができない。20名で限界だと思う。
議員定数の減や特定の地域から議員が選出されないということが起こっているが、バランスは取れるのか。もし支障がでた場合には、選挙時に区割りをするなどということができるのか。	議員は地域代表として、また、全域の代表として活動したいと思っている。特定の地域に議員がいないからと言ってその地域を見捨てることはない。議員それぞれが成長して行くことが一番大事。ぜひ、あらゆる機会に議員を呼んでもらいたい。そこで対話をすることが、議員を成長させることにつながる。まだ3期目がスタートしたばかりなので、選挙制度の良し悪しはこれからの活動を通して検討していきたい。
常任委員会構成6名、これで二元性が機能するのか、5人は減らしすぎではなかったのか。	議会改革特別委員会の中でもさまざまな議論がなされ、4対3という状況であった。定数を減らし財政効果も得る中で、議員全員で頑張ろうという結論になった。
議会がますます遠くなるので、しっかり地域へ出てきてもらいたい。	

質疑・意見	会場での回答
<p>政務活動費とは。どのように活用しているのか。</p>	<p>本年度から始まった。会派または議員に対して交付されるものである。会派全員での調査研修や、多方面にわたる情報収集のため数名ずつ分かれての参加もある。</p>
<p>勉強されるのもよいが、それを還元することが大切であり、報告会も必要ではないか。</p>	<p>会派の報告会も考えている。</p>
<p>庄原市議会の政務活動費について説明を求める。何ヶ月毎に交付されるのか。</p>	<p>特徴的なことは、よく問題となっている按分がないことで、電話料・燃料代・事務所費等は認めていない。また、旅費も実費で食事代も認めておらず、厳しく公明正大な運用だと思っている。交付は6ヶ月毎に一人当たり月額3万円であり、使用しなければ精算で返還することになる。</p>
<p>政務活動費を制度化されたが、支給の意味、現在の取り組み状況を教えてほしい。</p>	<p>会派5人で東京へ研修に行った。地震やマイナンバー制度について勉強した。これからも勉強する。庄原市議会は厳しい条件をつけて活動費を出している。</p>
	<p>政務活動費は補助金。使わなければ返す仕組みだ。東広島市の地域生活交通について聞きに行った。生活交通については法的にさまざまな課題がある。</p>
	<p>他市の先進的な事例ばかり学ぶのではなく、地域から学ぶべき。</p>

## 6. 意見・要望等について

### 1) 議会へ対する質疑・意見・要望

質疑・意見・要望	会場での回答
工業団地について、議員も動いて誘致をしてもらいたい。	実際に声をかけて前向きになってもらった会社もある。
今日は参加してよかった。光ケーブルなどどうして出来ないのかがよくわかった。こういった否決の理由についても、議会だよりでわかるようにしてほしい。	さらにわかりやすい内容にしてまいりたい。
行政に携わっていた人であれば、今回のような話はわかるのだろうが、いきなりの説明ではわかりにくい。パワーポイントなどの手法も取り入れてもらいたい。	検討して、より良い説明が出来るよう努める。
本会議において突っ込んだ議論を行うべき。国会の党首討論のように緊張感のあるものにして、また傍聴へ行きたくなるように。	予算・決算の審査を充分に行い、執行者へアクセル・ブレーキを利かせたい。議員間討議の充実、通年議会のあり方も検討しているところである。
議会における議論をしっかり行い、反対ばかりでなく妥協点を見出す努力をすべき。また、議論の形態として、庁舎1階でのロビー議会、市長・議員・傍聴市民の意見交換、土日議会も検討してみるべき。	議論を深め一致点を見出す努力もするし、議論の形態は参考とさせていただく。
庄原駅前の整備が進むが、完成後の賑わいがどうなるのか疑問。家屋の取り壊しのみで終わる世帯もあり寂しくなる状況。議会として真剣に検討してもらいたい。	25年来の課題であり、道路整備と合わせバスセンターを移転させる等、当初の規模を縮小しての整備計画である。施設整備のみで賑わいは得られず、九日市・オープンガーデンの例にあるように、議会・議員としてもしっかり提言したい。
議会として事業仕分けを行ってみてはどうか。合併前から継続している補助金も多くある。議員から新たな制度も提案すべきだ。	庄原市の補助金は県下でも高い水準にあるため、しっかりと検証しなくてはならない。また、指定管理についても同様に仕分けが必要と思う。施策の提案ができる議員をめざしたい。
政務活動費で研修に行くのではなく、もっと現地で市民の声を聞いてほしい。	

質疑・意見・要望	会場での回答
<p>議員の兼業・兼職について、観光協会や農協に関わっている人がいるが、条例には抵触しないのか。庄原市はこの問題に対して、比較的緩やかである。自ら姿勢を正すべきではないのか。</p>	<p>本人の判断に任せるしかないと考える。</p>
<p>議会報告会に出向く議員について、地元出身の議員が1名は入ってほしい。地域の話をしてもどこのことかわかってもらえないのではないのか。</p>	<p>議員がどの会場へ出向くか、また班編成についても、くじ引きで公平に行っており、たまたま地元へ行く場合もあるが、そうでないこともある。</p> <p>総領のように地元出身議員のいない地域もあるので、理解してほしい。</p>
<p>地元の議員が地元の報告会に来てほしい。</p>	
<p>防災無線や光通信の整備は凍結せず、前向きに取り組んでほしい。</p>	<p>やめる市長の場合、骨格予算を組むことが多いが、今回は通常予算にされた。予算に対する、前市長の考えが甘すぎた。新市長のもとでよく検討してもらいたいという思いで否決した。前向きに検討したい。</p>
<p>人口減少へ歯止めをかける対策を、他市の例を参考にしながら打ち出してほしい。</p>	
<p>広い市域であるので、点在する観光地を結ぶ企画を提案してほしい。必要なところに税金を使ってほしい。</p>	
<p>ジュオン問題、議会としての解決策を示すべし。(再掲)</p>	
<p>昨年ジュオン問題を報告されたが、市長が情報をくれなかったからとのことだった。全く議会の体をなされていないと思った。しっかり勉強され議会は議会で学び、いけないことはNO、いいことはYESと言ってほしい。</p>	

質疑・意見・要望	会場での回答
<p>放課後児童クラブの議論の中で、担当課長の答弁の中で「4年生以降は家庭で対応できるだろう」との発言があった。全ての家庭が受け入れを要望しているわけではないが、福祉行政は、最後の一人を助ける施策を持つのが当然ではないかと思い、そのような意識を持っている職員・議員がいることに非常に腹立がたった。あてになる行政を市民が期待している。いつまでも市民の側に立って議員活動をしていただきたい。</p>	
<p>議会傍聴に行き、質疑や答弁を聞くと実に静かである。今日はとても良かった。ありがとうございました。</p>	
<p>議会報告会に初めて参加して、議員のレベルアップには非常にいいと思った。東地区には2人の議員がおられるが、できるだけ年に1回位は1人だけでも出身地区に出席する方がいいと思う。</p>	
<p>一般質問の答弁の中で、市長が議員に対し「あとでゆっくり2人で話してみたい。」という発言をされた。傍聴者がいる前で、そういう発言をされると癒着を疑うので、議会からもきちんと指摘をしてほしい。</p>	
<p>庄原市では、保育所へ第3子が同時入所の場合、保育料が無料となっているが、現実的でない。三次市では8年も前から、上の子どもが18歳までなら第3子は保育料無料である。子育て負担の軽減を考えるべきではないか。また、放課後児童クラブの件では、議員の子育てに対する深い気持ちを聞きたかった。本当に安心安全な子育てをするならば、6年生までは、児童クラブで引き受けてほしい。もちろん費用もかかるが、議員が行政にしっかり伝えるべきではないか。市長は検討すると言われたが、副市長は逆の答弁をされた。</p>	<p>教育民生常任委員会で委員会として意見をまとめることとなっている。今の支援策を後退させることのないよう、また、今日のご意見をふまえてしっかり議論していきたい。</p>

質疑・意見・要望	会場での回答
<p>報告会の資料をもっと詳しくしてほしい。聞くだけでは書ききれない。以前から言っているが変わっていない。</p>	
<p>議員はそれぞれの地域に入って意見を聞くべきでは。年に4回以上は出向いてほしい。</p>	
<p>ぜひ、議員全員フェイスブックを使ってほしい。</p>	

2) 行政に対する質疑・意見・要望

質疑・意見・要望	会場での回答
【庄原地域 庄原地区】	
<p>自治振興区へ様々な補助がなされている。この中で、制度を活用できる地域と人材不足等のため出来ない地域が顕著となっており、出来ないところへもしっかり行政の目を光らせてほしい。同時に、行政と自治振興区の役割が不明瞭となり、地域間格差が発生してきており改善が必要である。</p>	<p>議会でも議論をするとともに執行者へ伝える。</p>
<p>定数に関しては、議員定数の削減よりも、農業委員会の委員数がこれほど必要とは思えず、不要な委員数は削減するよう議論をして欲しい。</p>	<p>議会でも議論をするとともに執行者へ伝える。</p>
<p>新しい市長の顔が見えない。もっと市民の前へ出て考えを出してもらいたい。</p>	
<p>美湯ハイツの課題を具体的に提言する。600戸余りの世帯が自治会を構成し生活している。しかし、市営住宅の30棟については、自治会入りもされないし、独自に自治組織も整備されておらず、地域の空白地になっている。災害・福祉等安心な生活を考えると不安であり、早急に対応してもらいたい。</p>	<p>執行者に伝える。</p>
【庄原地域 高地区】	
<p>市議会議員選挙において、1ターン・Uターンの者にとっては、候補者の意見・経歴が分からないため、選挙公報を出すことを次の選挙に向けて制度化して欲しい。</p>	<p>意見を持ち帰る。</p>
<p>農林振興公社が刈り取り作業のみ行い、売り先まで責任を持たず、農業者のほうで販売せよでは、公社存続の意味がない。現在の公社は機能しておらず、解散せず存続させるなら販売まで行うよう検討すべき。議会が動かないと公社は改善されない。</p>	<p>意見を持ち帰る。</p>
【庄原地域 本村地区】	
<p>ピラミッドのトイレが壊れて使用できない。道の駅たかのにばかり目を向けている。地元として情けない。</p>	<p>要望書を提出するなどしてほしい。できないことはないと思う。地域の要望を行政につなぐことが必要。</p>

質疑・意見・要望	会場での回答
職員は地域の要望を出向いて把握することが必要ではないか。	トイレについては1週間ぐらいで連絡する。
(トイレの件は) 商工観光課には何年も前から要望している。やる気がないだけだ。	
住民自治と言われ、地域に責任が押しつけられる傾向が強くなっているが、地域には人材が不足している。市の行政がすべきことについては職員も財源も確保すべき。	
【庄原地域 敷信地区】	
イノシシとシカにより農作物被害が増加している。イノシシのようにシカに対しても捕獲に対する奨励金を出して欲しい。	奨励金の要望については、市の担当課へつなぐ。
合併して9年目をむかえているが、支所の職員数などをもっと減らすべきではないか。旧庄原(自治振興区)は年400万円で運営している。バランスが悪いのではないか。見直しされるのかお聞きしたい。	庄原市の場合、対等合併であったこともあり、これまで執行者の考えで支所の職員数は他市に比べ多いのは事実だ。しかし、諸般の事情も変化しており、行政の仕組みも考えながら検討すべき時期に差し掛かっていると認識している。
【庄原地域 山内地区】	
庄原日赤病院で予約をしたにもかかわらず、2～3時間待ちの状態になり、対応が悪い。補助金を出している以上、サービス向上の話しをしてもらいたい。	年一回、市と会議をもうけている。声を届けたい。
日赤は院外で薬がもらえず、受け取りに時間がかかる。三次は違う。補助金を出している市は、もう少し云えるのではないか。	西城市民病院は人件費削減のため、院外としているが、日赤はなっていない。担当へ伝える。
市の職員が挨拶をしない。どうなっているのか。	しっかり対応していくよう伝える。
【西城地域 西城地区】	
国道183号八鳥線200メートルくらいの改良が行われている。内京までを早急に対応してほしい。災害や工事などがあった場合、迂回路が確保できないと思う。	持ち帰って回答する。
災害が起きた場合の避難場所の指定がいい加減である。八鳥公民館などは災害が起きても役立たない。そこまでの経路を含め見直してほしい。	すぐに回答ができないので、執行者へ伝えたい。

質疑・意見・要望	会場での回答
<p>日中も地元にいる消防団員が少ない。どんな法律で決められているのかわからないが、3人いないと出動できない。昼は仕事に出かけている人が多いので、取り決めが変えられないか。元団員が出動してはだめか。要望として聞いてほしい。</p>	<p>法律の名前までは回答できないが、現役でないと出動できないことになっている。現役の消防団員が戻ったときに消防車がいないと困る。これも是非を検討する。</p>
<p>民家までの道に除雪車が入らない。一人暮らしのお年寄りの家はどうすればいいのか。平日は地域の者も手伝いにいけないので、何か手立てがほしい。</p>	<p>私道の除雪は時間のない中で、一軒だけを特別にということが難しい。福祉や市民生活の担当と話をしてみる。地域の方で協力してやっていただく方法も考えてみていただきたい。</p> <p>憲法も変えられる時代なので、生活に密着した問題ならば要望をしてみしてほしい。生活交通などは大きく変わってきている。しっかり自治会の中で地元の声を出してもらい、支所に届けてほしい。農地の問題では、農地法が空洞化している。法律は住民のためにある。しっかりと発言していくことが大切である。積み上げが大切だ。</p>
<p>医療費の減額をしてほしい。安心して医療機関へ掛かることのできる対策を立ててほしい。</p>	<p>執行者へ伝える。いい検討・課題のテーマをいただいた。</p>
<p>自治振興区はボランティアでやっており、市役所の職員はプロである。何でも説明ができる職員が減っていることに心を痛めている。正職員をしっかり確保してほしい。</p>	<p>執行者に伝えたい。</p>
<p>【西城地域 八鉾地区】</p>	
<p>庄原市の教育長の選任について、もっと地域に密着した地元の人を選出してほしい。</p>	
<p>【東城地域 東城地区】</p>	
<p>自治振興センターの指定管理について、自治振興センターに併設している文化ホールの音響や照明などの装置の操作が、素人ではできないので、そのあたりを市として考えて欲しい。</p>	<p>持ち帰って、担当部署に伝える。</p>
<p>夜間の施錠の仕方が慣れないせいもあり、不便との意見がある。</p>	<p>他の施設も同じ方法でやっているのだから、慣れてもらうしか方法はない。</p>

質疑・意見・要望	会場での回答
【東城地域 八幡地区】	
<p>庄原市は、がんばる農業など他市と比べると多くの補助金を出している。県からも、営農指導員など支援してもらっている。しかし、もう少し盛り上がりがない。もう一步踏み込んだ事業がほしい。</p>	<p>農業がしっかりしないと庄原市の発展はない。現場の声を聞きながら、JA との連携も深めていきたい。声をもっと届けてもらいたい。</p>
【東城地域 田森地区】	
<p>投票所数が減っており、投票所も遠くなった。交通手段のないものはどうすればいいのか。また、期日前投票に行き、理由などを聞かれ、緊張してうまく答えられなかったとの話を聞いた。事務手続きを簡単にするため、はがき（入場券）の裏に所定の項目を印刷して、事前に家で書いて行けるようにしたらどうか。この例は他県でやっている</p>	<p>以前に比べ、簡素化されているとは思いますが、ご意見を選挙管理委員会へ伝える。</p>
【東城地域 久代地区】	
<p>小学生が事件に巻き込まれることが増えている。放課後など、子供・親が安心できる体制を考えるなど、小さいケアをしてほしい。</p>	<p>放課後児童クラブを拡充したり、スポーツ教室による取組等も増えてきているが必要なことと思う。</p>
【東城地域 新坂地区】	
<p>要望書も提出しているが、市道谷弘（タニヒロ）線の道路改修工事を早期に着工して欲しい。併せて、この県道からこの自治振興センターへの進入路も改良して欲しい。</p>	<p>執行者へ伝えておく。</p>
<p>市政懇談会の再開を望む。今のやり方では、住民の意見を聞くと言う姿勢では無いと思える。従来のものに戻して欲しい。</p>	<p>執行者に強く要望しておく。</p>
<p>県道や市道の法面の草刈りが雑すぎる。もっと丁寧に刈って欲しい。そして、道に被さる立木の伐採もお願いしたい。車の通行に支障がでている。</p>	<p>担当課に伝えておく。</p>

質疑・意見・要望	会場での回答
<p>高速通信網が整備されれば解決することかも知れないが、地デジが見えにくい。</p> <p>市に相談しても、既に終了していることで、対応が悪い。今後、機器が故障した場合、誰が負担するのか？個人負担が非常に高額である。</p>	<p>担当部署に報告するので、担当より回答させる。</p>
【口和地域 口和地区】	
<p>公共料金の支払い方法について、庄原市ではクレジットが利用出来ない。ポイント制度もあるので考えてほしい。</p>	
【比和地域 比和地区】	
<p>現在、市は衛星ブロードバンドの希望申込を受け付けているのでは。ADSLが入らないところについての申込を受け付けているのでは。光とは関係ないのか。</p>	<p>持ち帰って回答する。</p>
<p>通院バスの運行について、高齢者のために月2回でいいので、バスがほしい。日赤まで片道930円であり、経費がかかる。要介護の人だけではなく、認定されない狭間の高齢者も暮らしやすいように考えてほしい。</p>	<p>執行者へ伝える。</p>
<p>地元野菜の道の駅たかのまでの運搬方法について、現在、野菜を出荷しているが、予冷库へストックし、それを比和特産市場まで持っている。高野まで運搬するのに人手が不足困っている。何か方法はないか。</p>	<p>正式決定ではないが、保冷車で回収するように聞き及んでいる。事実を確認し、回答する。</p>
<p>八木店について、自分も野菜を出荷しているが、ほとんど客がない。売り上げも低下している。今後どうするのか。</p>	<p>月50万円の家賃で20年間の契約をしているが、検討し結論を出すべきだと思う。</p>
<p>自分は地域審議会委員になっているが、出た意見を集約したものが未だに示されていない。地域の声として、合併後の各町をバスなどで巡回視察をしたいとの声が高齢者から出ているが、どうか。</p>	<p>持ち帰り、執行者へ伝える。</p>
【総領地域 総領地区】	
<p>主要地方道三良坂総領線（上市交差点～ダム再建地）における道路改良について、何年も要望しているが実現していない。粘り強く対応してもらいたい。</p>	<p>総領地域の道路整備については、過去、出身議員も定例会の都度一般質問されていた。執行者へも伝え継続して対応する。</p>

## 7. まとめ

庄原市議会報告会実施要綱に基づき検証を行った。

### 1) 開催時期等について

#### ●実施状況

- ・ 6月定例会終了後（7月）
- ・ 年1回以上
- ・ 原則平日の 19:00～21:00

#### ●課題・改善内容等

- ① 議会報告会場や参加者アンケートにおいて年2回の開催を望む声もあったが、日程の調整上、年1回の開催とする。ただし、必要があれば年複数回開催する。
- ② 開催時期は6月定例会後（7月中）に実施する。
- ③ 開催時刻について 19:00 は早いという声もあったが、次回も原則 19:00 から2時間の設定で実施する。開催時刻の設定に当たっては、地元の意向を優先し、地域の実情を勘案しながら、柔軟に対応する。

### 2) 開催会場の設定数について

#### ●実施状況

- ・ 21会場（庄原8・西城2・東城7・口和1・高野1・比和1・総領1）

#### ●課題・改善内容等

- ① 当面、市内 21 会場を基本に実施する。
- ② 開催会場の設定については、地域の実情を踏まえ決定する。  
（例：高野地域…上高・下高の2年ごと交互開催）
- ③ 自治振興センターにこだわらず、市民の集まりやすい場所を取り入れることも検討する。  
（例：ショッピングセンターなど）

### 3) 報告内容について

#### ●実施状況

- ・ 平成 25 年度一般会計予算の減額修正について
- ・ 6月定例会の審議状況について

#### ●課題・改善内容等

- ① その時期のトピックス、市民が関心を持っていることをテーマにする。（2～3点にしぼっていく。）
- ② 参加者アンケートにおいて、説明がわかりにくかったという声もあり、報告事項についてどのように説明するのかという課題が残った（昨年度と同様）。市民の立場に立った、わかりやすい資料について十分検討する必要がある。
- ③ 地域課題等のテーマについては、事前の設定が難しいため、意見交換の中で対応していくこととする。（誰と事前に協議するのかという問題もあり、引き続き検討課題とする。）

#### 4) 班編成・構成について

##### ●実施状況

- ・ 班編成……3名構成（常任委員会を考慮）6班編成（ただし、1班のみ4名構成）

##### ●課題・改善内容等

- ① 班構成について、現行のままでよいという意見と、地元議員を入れた方がよいのではないかという2つの意見があった。
- ② 説明員を増やせは、話題が増えるというメリットもある。
- ③ 4名体制の方が運営が楽であったという実績を踏まえ、人数を増やすことを検討する。（ただし、地元議員を入れることについては、反対意見もあったことを考慮したうえで。）

#### 5) 記録について

##### ●実施状況

- ・ 記録者において要点記録する

##### ●課題・改善内容

- ① 現行どおり議員が作成し、質疑・応答方式でまとめる方法で次回も実施する。
- ② 報告書は速やかに提出する。

#### 6) 時間割について

##### ●実施状況

開会あいさつ（5分）

議会報告

- ① 議会活動報告（30分）
- ② 質疑応答（30分）

意見交換等（50分）

閉会あいさつ（5分）

##### ●課題・改善内容

- ① 現行どおりの時間配分（合計2時間）で次回も実施する。

#### 7) 配布資料について

##### ●実施状況

- ・ 共通資料（報告事項へ要点のみ記載）

##### ●課題・改善内容

- ① 今回の配布資料は項目のみの掲載としたが、参加者アンケートや会場から、もう少し詳しい資料を望む声も多く、報告テーマを設定した後の資料作成に、昨年と同様の課題が残った。早い段階から資料づくりに努め、項目にももう少し説明を加えるなど、わかりやすいものにしていく。
- ② 地域を元気にするテーマに関する配布資料の検討を、班長・構成員が考えて進めることも必要。（意見交換の中で使用することとし、必要に応じて作成する。）

## 8) 周知方法について

### ●実施状況

- ・ 行政文書（全世帯へ配布）6月20日
- ・ 広報車（庄原地域）による周知（開会当日）
- ・ オフトーク・行政防災無線放送による（支所へ依頼）

### ●課題・改善内容

- ① 基本的には、今回行った周知方法で次回も実施する。
- ② 各会場で参加者にばらつきがあったので、日程の設定に当たっては地域（自治振興区）と十分調整を行い行事が重ならないよう努める。
- ③ より多くの参加をいただくために、自治振興区と連携し参加を呼びかける。
- ④ 議員自らが報告会へ参加してもらうように市民へ働きかけをする。
- ⑤ 自分たちでどこまでやれるのか、もう一步踏み込んで議論を重ねる。
- ⑥ もう少し目につきやすい広報を検討する。（集客施設での立て看板設置など）

## 9) 報告会全体の運営について

- ① 議会全体（議員全員協議会）で報告内容の確認等を目的として統一的な学習会を行った後、班で十分学習を行い地域に出向くことが必要である。
- ② 議会報告会の所管委員会は議会運営委員会としているが、議員全体の課題として取り組みを進めていく必要がある。
- ③ 議会報告会への参加人数の減少は、報告会の意義を問われていることであり、市民が報告会で何を聞きたいのか的確につかみ、参加人数を増やすための取り組み・工夫が必要である。
- ④ 参加人数を増やすことにより、話題性が増し、活発な意見交換が期待できる。とりわけ地元議員が積極的に参加者を増やすための案内をすることが必要である。
- ⑤ 挙手により氏名を告げて発言させる方法について、発言しにくいとの声もある。
- ⑥ 地域を元気にすることを考えるテーマの設定も必要である。
- ⑦ 執行者に対する意見・要望のあったものについて、その後の対応状況等を議会へも報告を受けることとする。
- ⑧ 報告事項に対し、議員個々の意見を問われることも多くなってきているが、議会の決定事項や議論の経過を報告した後に、個々の賛否や意見を述べることとする（議員個人の報告会ではない）。

